

事業所名

にじいろキッズらいふ篠ノ井北(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

11日

法人(事業所)理念		利用者の人としての尊厳を大切に、地域社会でゆとりと潤いのある、その人らしく、いきいきと自立した日常生活が送れるよう、利用者様本位のニーズに合った福祉サービスの提供に努める。					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携を図りながら早期発見・早期支援に努めます。</li> <li>将来に自分の強みを活かし自分らしい生活が送れるよう支援します。</li> <li>インクルーシブな社会を目指し保育園等への移行を行います。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルを大切にオーダーメイドの個別支援計画を作成し発達支援を行います。</li> <li>複数の事業を展開する法人の強みを活かし連携しながら個々の特性に合わせた支援を行います。</li> <li>子育て支援のために保護者向けの事業を展開し家庭支援を行います。</li> </ul>		
営業時間		8時	30分	17時	15分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	一日のお預かりを通し生活リズムを整え、食事・着脱・排泄等の基本的な生活習慣が身についていくように、一人一人の成長のスピードに合わせて、ご家族と一緒に進めていきます。取り組みの際は、おさまが集中しやすく、ここでは何をするのかを分かりやすくする環境作りも併せて行います。(視覚支援の活用、空間や手順などの構造化)					
	運動・感覚	専門職と連携をしながら、全身の発達から細やかな手先の育ちまでの発達が促進されるよう、運動や遊び、制作等の活動を企画し、おさまが楽しみながら活動に参加できるようにします。おさまに合わせて教材や活動等の難易度を調整します。また、感覚特性に配慮をしたり、おさまの発達段階や強みを大切にしながら、『できた』を積み重ねるようにします。					
	認知・行動	様々な活動や豊かな体験を提供することにより、感覚への働きかけ、概念的な理解の形成をし、認知の発達に促していきます。また、ルーティン化された日課により、次を見通して自分から行動する力を育てていきます。分かるが増える中で、わからない・苦手・イヤの気持ちを受け止め、それを上手に周囲に伝えることで、自分の気持ちをコントロールしながら行動することを覚えていけるようにします。					
	言語コミュニケーション	おさまの興味関心に寄り添いながら、おさまの思いや行動に言葉を添えることを通して、言葉の理解を深めます。楽しいふれあい遊びの中で、おさまの「楽しい!」「もっとやって!」の期待感を引き出し、相手に「おねがい」「もう1回」を伝えたい気持ちを育み、仕草、ジェスチャー等おさまが伝えやすい手段の獲得や発信のバリエーションを増やしていくことを目指します。					
	人間関係社会性	安心した環境の中で、大人やお友達の真似をしたり、一緒に楽しく参加する中で集団での活動に慣れていきます。集団での活動を通し、お友達と遊ぶこと活動することで、お友達が一緒だと楽しいという気持ちと遊びを広げます。毎日の繰り返しの活動の中で、楽しみながら順番を待つことや決まった合図で活動をおしまいにする経験を積みながら、集団でのルールを知る機会を設けます。					
家族支援	子どもの人生の基礎となる時期における子育てについて、ご家族との対話を大切にしながら、総合的に支援します。	保護者面談、保護者研修会、参観週間等			移行支援	併用利用を積極的に受け入れ、幼稚園・保育園への繋ぎの支援も行います。就学移行を見据えた目標や支援内容を設定し、支援と引継ぎを行います。	
地域支援・地域連携	おさまが関係する機関(行政、保健センター、医療機関等)と連携を図りながら、支援が途切れることがないようにしていきます。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>感覚統合理論、ABA応用行動分析、Teacchプログラムの構造化、特性理解等の専門研修を行います。</li> <li>虐待防止、身体拘束等適正化、感染症対策、BCPの研修を行います。</li> </ul>	
主な行事等		リトミック、季節行事、食育、避難訓練(引き渡し訓練)等					